

村上精機株式会社

大阪府堺市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

長年に渡り超精密加工・高精度装置組立で培った技術で、宇宙防衛産業用特殊部品や、環境エネルギー分野の新製品開発に挑戦

- 大手要求水準に対応できるサブミクロン単位での難削材超精密加工技術と高度計測検査技術による品質保証体制
- 機械加工だけでは仕上げ不可能な、平面度・真直度を可能にする「きさげ」による高精度な産業用製造装置の仕上・組立技術
- 超精密加工技術による航空宇宙産業機器製造と再エネ発電用システム技術を開発

企業基本情報

所在地	大阪府堺市山本町五丁 97 番地の 3
電話 / FAX	072-232-5693/072-233-3168
U R L	http://www.murakamiseiki.co.jp/
代表者	代表取締役 村上 周三
設立	1948 年
資本金	2,200 万円
従業員数	40 人



会社概要

超精密機械部品加工・高精度組立技術を有している。特に「きさげ」の技術は現在の機械加工では実現できない高精度平面加工を職人の手によって一品一品手作業で仕上げていく非常に高度な加工技術。また、培った技術を生かし、1000℃を超える燃焼温度に耐えられる難削材のロケットエンジン用燃料バルブやノズル部品の試作・製造、同社開発のロータリーエンジン技術を用いた再エネ発電システムなど、同社の高度な技術製品の開発と挑戦を続けている。



会社内観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 様々な金属に対応した精密加工と、高度な組み立て技術

大手企業の要求水準に対応できる、サブミクロン単位での超精密機械部品の製造及び組立・検査を社内で一貫して行っている。他社が最新設備を導入しても簡単には真似出来ない水準の“高度なものづくり”にこだわる。その一方で組上げる装置精度に関係のない過剰な精度要求の部品・部分にはコスト低減も提案する等、より低コストで良いものとして「コストに見合ったものづくり」を品質目標に掲げている。技術者一人ひとりがテクニカルなエキスパートとして仕事に取り組んでいる。



きさげ平面度検査

▶▶▶ 金属面同士の高低差を人の手で削り取る「きさげ」技術

同社の持つ「きさげ」技術は、高品質の工作機械（マザーマシン）や半導体製造装置等の最新モデルにも無くてはならない工程で今も見えない所で必要とされている。機械加工・研磨仕上げだけでそのまま組立てても、数ミクロンのガタ・誤差が残り、装置全体では加工精度の悪化と摺動部の寿命低下を招く。部品構造も組立や自重でも僅かな歪みは必ず生じるため、それらの誤差を人の目と手で削ぎ落とし、理想的に仕上げ組上げる技術である。同社には熟練工が5名所属している。



きさげ加工

▶▶▶ 安定したものづくりと、自社ブランドの独自製品製造に挑む

同社のビジネスモデルは大手企業の高い品質要求に応え続ける中で培ってきた高い技術力が根幹にある。大手自動車メーカーのダイキャスト金型の継続受注においてコスト低減と強度の両立を続けてきたノウハウを持ち、ロケット用液体燃料バルブの他、蒸気ロータリーエンジンの耐食性・強度が必要な部分にも多用している。他社が模倣品を製造しても同等の性能を発揮することは難しい卓越した加工技術の賜物であり、独占的な優位性がある。



オールステンレス製 RE